



認知症カフェのお話 らんらん Café ～会場でもオンラインでも～

らんらん Café 運営スタッフの嘉山仁さんにお話を伺いました。

【らんらん Café のはじまり】

認知症の理解をひろめていこうというイベント「RUN伴」の全国的な拡がりに応じて、2016 年から「RUN伴+三浦半島」を実施。このイベントへの集客手段の一つとして、認知症カフェの開催を思いつき、「らんらん Café」という名称にしました。

「カフェ」と名乗るからには、本物のカフェを会場として借りることができないかと考え、当時浦賀駅近くにあったクールクラン浦賀の2階を借り切ってスタートしました。

【全国でも珍しいハイブリッド型】

当初は集い、話し、時には歌うというスタイルでしたが、コロナ禍を経て、オンラインと会場を併用したハイブリッド方式へ。会場にはスクリーンやモニターを設け、会場とオンラインを繋げてカフェを実施しています。オンラインのメリットは、感染予防のほか、会場に来ることが難しい方でもご自宅から参加できること。時には全国から参加いただくこともあります。コロナ禍を過ぎても、距離を超えて参加し続けてくれる方々の居場所になっていることを信じて、これからもハイブリッド型でのカフェを続けていきます。



らんらん Café（浦賀）



らんらん Café（鶴が丘）

開催情報／

◎らんらん Café（浦賀）
第2土曜日
午前 10 時～12 時
酒と宿と不動産

◎らんらん Café（鶴が丘）
第4土曜日
午前 10 時～12 時
ローソン横須賀
鶴が丘店

【さまざまな思いが繋がる場】

認知症と診断されたご本人やその家族をはじめ、民生委員、ご近所の方、介護サービスに従事する方など様々な方にご参加いただいています。認知症のことを話すこともあれば、そうでないこともあります。カフェを通じての繋がりが続いていて、参加していた認知症ご本人が亡くなったあとも、ご家族が参加しています。今、認知症と診断を受けて当惑されている方に経験を語ってくれます。また、専門職も多く参加しており、個別の困りごとへの相談に対応することができます。

【人と繋がることで安心に】

認知症に関して病気そのものへのアプローチも大切ですが、周囲の理解や繋がりから得られる安心がもっとも必要だと感じています。私たちは、らんらん Café に限らず、気軽に集い、人と繋がることで安心に繋がるような場を続けていきたいと思ひます。

問い合わせ先：福祉総務課 地域力推進係（046-822-9804）